

会 議 録

会議の名称	長期計画審議会（第16回）
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係
開催日時	平成22年6月29日（水）午後6時00分～7時30分
開催場所	小金井市役所本庁舎 2階庁議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	可 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 答申書等の修正について 2 答申及び提言 3 市長との懇談
会議結果	結果（概要）作成中、後日追加する。
発言内容・ 発言者名（主な発言要旨）	別紙のとおり
提出資料	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4次長期総合計画（案）についての答申及び提言について ・ 第4次長期総合計画（案）の答申に当たって ・ 第4次基本構想・前期基本計画（案）に対する意見及び検討結果について ・ 第4次小金井市長期総合計画（案） ・ 長期総合計画の策定・実行・評価等に関する提言 ・ 対照表（第3次基本構想・後期基本計画と第4次基本構想・前期基本計画） ・ 対照表（H22.5/6～6/28 パブリックコメント案～答申案の修正点）

目 次

答申書等の修正について	-----	1～3
答申	-----	3～15
(1) 武藤会長より挨拶	-----	3
(2) 稲葉市長より挨拶	-----	4
(3) 各委員より挨拶及び感想等	-----	4～14
(4) 稲葉市長より一言	-----	14～15

第16回小金井市長期計画審議会

日 時 平成22年6月29日(火) 午後6時00分～午後7時30分

場 所 小金井市役所本庁舎 2階庁議室

出席委員 13人

会長	武藤博己	委員		
職務代理者	三橋誠	委員		
委員	永田尚人	委員	玉山京子	委員
	鈴木富雄	委員	今井啓一郎	委員
	竹内實	委員	鴨下輝秋	委員
	鮎川志津子	委員	五十嵐京子	委員
	吉良正資	委員	渡辺嘉二郎	委員
	大久保伸親	委員		

欠席委員 3名

	淡路富男	委員
	町田裕紀	委員
	古川俊明	委員

事務局職員

長期総合計画等担当部長	伊藤茂男
企画政策課長	天野建司
企画政策課長補佐	井上明人
企画政策係主査	堤直規
企画政策係主事	原島加代子

傍聴者 0人

(午後6時00分 開会)

◎武藤会長 ただいまより始めさせていただきます。お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。第16回の長期計画審議会を始めさせていただきます。

本日は、淡路委員、古川委員から欠席のご連絡をいただいております。

答申、提言に先立って、今日は、6月23日の第15回長期計画審議会のうちの、後の調整による修正点を確認をするところから始めたいと思います。

では、事務局から説明をお願いいたします。

◎事務局 一部差し替えが必要になっている点があります。

調整点について報告いたしますと、「答申に当たって」では、語句の修正のほかに、五十嵐

委員のご意見による財政基盤強化を追加しています。淡路委員のご意見による地域間競争については、地域との共存共栄関係もあるため、調整の結果、追加しないことになっています。また、前回失礼いたしました。三橋委員による語句の整理、及び謝辞を関心ある市民の方全体にする修正については反映してございます。

提言については、審議会での議論を反映し、「残念ながら」及び「実質1年以上の」という文言を削除しました。

答申案についてなんですが、パブリックコメント（案）からの修正点は最終的に3点ほどあるんですけども、それを除けば対照表のようになっています。

事務局として読み合わせをして見つかった、言葉遣い等の修正も入れています。合計すると、対照表のほう112カ所で、そのうちパブコメの修正は12カ所で、ほとんどが誤植修正等でございます。

それから、その中のポイントとしては、前回審議会後の修正点としては、誤植等の修正以外では、会長及び起草委員にご相談しましたら、7ページのところの高架化の文言を追加ですね。上り線に加えて下り線、下りはというふうになっています。

それから、「（仮称）市民交流センター」の「（仮称）」を削除しました。

また、水道事業についての委託対象というのは、東京都に完全に移管されますみたいな書き方だったんですが、正確には市の事務であるものを東京都に委託して、それがまた東京都から逆委託をされている、この逆委託だけを解消するという事なので、正確な文言に直しています。

あと、かかり歯科医のところは抜けていたのを追加をしています。

それから、63ページになりますけれども、古川委員からご指摘がありました案内表示についてなんですけれども、結論としては、バリアフリーのまちづくり基本構想では案内方式としているところとして、表示という言い方に情報という意味を含むということで整理をさせていただきたいと思っております。なお、この後の答申、提言と市長との懇談の進行は、長期総合計画等担当部長が務めさせていただきたいと思えます。

◎武藤会長 ありがとうございます。いかがでしょうか。よろしいですか。

前回の審議会の後、起草委員間でメールのやりとりは相当して、多くの皆さんからご意見もいただいた中で、なかなか決着がつかないものについては、どこまで議論するかというのを、作業の問題もありましたので、私のほうで一定の方向性を出して、ご理解いただいたということです。それが今回反映されていると思います。その意味では、意に沿わない点もあるかもしれませんが、またそれは意見が違うというんでしょうか、なかなか決着がつかないことですので、ご理解いただきたいと思います。そういう意味では、例えば「残念ながら」というような文言が削られたことについて、残念だなと思っている人もいれば、余計な感情が入らなくてよかったと思う場合もありまして、なかなか微妙なところがありますけれども、何とかここまでたどり着いたということでございます。

そしてまた、誤字、脱字、これだけ膨大なものになってきますと、誤字は相当増えますので、今後委員の皆さんも見て、お気づきの点があるかもしれません。それについては、最終的にいつまでというのは、また事務局に言っていただくとして、関心あるところはできる限り、もう飽きるほど見ていただいて、誤字の発見に努めていただければと思いますが。誤字の発見が目的ではありませんので。（笑）中身をよくすることに、また今後の委員の皆さんのご活躍を期待したいと思っております。

特にご質問、ご意見なければ。よろしいですか。なければ、続いて答申ということでよろしいですか。

◎事務局 段取りとしましては、最初に一言会長に言っていただいて、お渡しをするのを写真にも撮って、それで市長に一言いただく。あと、全体が終わったところで記念撮影が残っていますので。まずは、市報用の写真を撮らせていただければ。

◎武藤会長 では、その後、懇談ということですね。

◎事務局 はい。記念撮影は最後に。

◎武藤会長 では、お渡しした後、皆さんにご意見なり。

◎事務局 大久保副市長にご発言いただいた後に、淡路委員からメッセージが寄せられていますので、今日の資料の最後になりますけれども、それを読み上げさせていただきます。

◎長期総合計画等担当部長 それでは、お時間となりましたので、これから小金井市長期計画審議会によります、第4次長期総合計画（案）の答申及び提言を行います。

初めに、会長の武藤先生から、答申に当たりましてごあいさつをお願いいたします。

◎武藤会長 昨年の6月12日から始まりまして、1年ちょっとでございますけれども、会議は、今日は16回ですが、実質的な審議を15回行ってまいりました。そのほか市民フォーラム、市民懇談会を含め、市民討議会、子ども懇談会も含めると、市民参加の取り組みが9回、延べ46時間ということでございます。委員の皆さん、自分の関心のある分野で一生懸命議論していただきまして、取りまとめたものでございます。もちろん行政の皆さんと協力をしながら、まさに協働で作ってきたという感じでございます。

ここにこれから市長にお渡ししますが、「答申に当たって」の中で、重点を置いたところを記しております。そのほか提言ということで、長期計画には直接関係しないといえますか、長期計画に書き込むべきでない点について、委員会で審議をしていく中で気づいたことについて、この提言というところでまとめてございます。5点ほどなんですけれども、重点プロジェクトを通じてだとか、参加と協働をさらに推進してほしいということ、それから広報活動についてだとか、庁内体制の強化ということでございます。これについては、また後で懇談の中でも委員の皆さんからのコメントもあるかと思えます。

では、早速お渡ししてよろしいでしょうか。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

それでは、会長から市長に答申書及び提言等をお渡しください。

(答申及び提言提出)

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

それでは、答申をお受けいただきました市長から、お礼のごあいさつを申し上げます。

◎稲葉市長 改めまして、皆さん、こんにちは。ただいま第4次長期総合計画(案)の答申及びご提言をいただきました。大変なご労苦に感謝を申し上げたいと思います。市民の幸せの増進を目的とし、「緑が萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ小金井市」を将来像とする第4次長期総合計画(案)であり、長期総合計画の策定、実施、評価についてのご提言をいただくということであり、答申と提言をよく拝読させていただき、最大限尊重し、市の案としたいと考えております。

この間、武藤会長をはじめ、長期計画審議会の皆様には、昨年6月12日諮問して以来、15回の審議会、16回の起草委員会と精力的にご審議をいただきました。その間、市民懇談会、市民フォーラム等、延べ46時間にも及ぶ市民参加の取り組みやパブリックコメントなど、常に市民の意見を聞く努力をされてきたということは、担当のほうから報告をいただいております。大変なご苦勞の中で作っていただいたということで、感謝でいっぱいであります。

私は、平成11年4月に市長になりました。そして、翌年の12年に第3次長期総合計画を策定させていただきました。これが平成13年から22年ということで、今年が最終年ということになるわけです。この第3次に関しても、計画が計画どおり遂行できたもの、延伸になったものいろいろあるわけでございますけれども、今回いただいた第4次長期総合計画、これからきちっとオーソライズされ、そして23年度から実施に入っていくということになります。皆様に大変お世話になったことを感謝申し上げ、その成果がきちっと出せるように頑張ってもらいたいと思います。ありがとうございます。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

続きまして、短時間ではございますけれども、長期計画審議会委員の皆様と市長との懇談に移りたいと思います。

それでは、恐縮でございますが、三橋委員から口火を切っていただきまして、その後順番にお願いいただければと思います。この1年を振り返りまして、何でも結構ですので、感想等ございましたら発言していただきたいと思います。市長には、その都度コメントがあればお話を。改めましてコメントいただければと思います。

◎稲葉市長 今井さんのだったら言えるけど。

◎今井委員 無口になっちゃいます。

◎長期総合計画等担当部長 では、三橋委員からよろしく願います。

◎三橋委員 まずは、この1年間、市の最上位計画である基本構想、基本計画、これに携わらせていただきまして、本当にありがとうございます。私自身、ごみの審議会に続いて2回目ですけれども、起草委員会を含めて31回、1月からは週に1回のペースで審議会ないしは起草委員会があるというようなペースの中で、精力的に議論をして頑張ってきたつもりです。そ

の意味でいうと、成果物については本当に感慨深いものがあります。

この中身、「答申に当たって」ないしは「提言」のところで、お話しすることは、ここに尽くされているところがあるんですけども、特に3点ほどコメントをさせていただければと思います。

1つが、今回この基本構想・基本計画のまずは見開きの2ページ目の最初の行に書いてあることです。「私たちは憲法に保障された地方自治の本旨にのっとり、市民のしあわせを増進することを目的に小金井市基本構想を策定します」というような文章で基本構想は書き始めています。ここは、本当にいろいろと議論したページなんですけれども、特に最初の「私たち」です。この「私たち」、第3次まで「本市」と言っていたのを「私たち」に変えた。もちろん各施策は、市の方がメインでやるものだと思うんですけども、今回から「私たち」という形に変えて、市民みんなで取組んでいくんだというような姿勢を今回大きく打ち出しました。それを冒頭に持ってきたところが、委員の中では革命的というような表現が使われた方もございますけれども、そういった思いがこの一文に入っているというところですよ。

そして、この「私たち」というのをベースにして、参加と協働ですとか、具体的にいろいろな施策が入っています。その施策の中で、成果・活動指標という形で、コミュニティーポータルサイトの開設ですとか、あるいは今井さんや町田さんなどのように主体的にイベントに参加される方の割合を9.4%から12%にしていこうとか、幾つか具体的な指標を使って、私たちのまちをよくしていこうというような施策もきちんと織り込まれていますので、その点について、「私たち」という意味をどんどん広げていけたらなというのが第1点です。

2点目は、今、話したことにも関連しているんですけども、今回の施策の体系といいますか、いろいろな仕組みですね。将来像があって、重点施策があって、重点プロジェクトがあって、かつそれを具体的に成果指標という形で落とししていく。評価指標ということで評価できるような体制まで、一連のものを作っているといったこの仕組みというのが、やはり第4次になって大きく進展したと思います。これができることによって、今後の評価も含め、市民にとっても非常にわかりやすいものになったというのが第2点目のところですよ。

3点目としましては、この具体的な中身。仕組みは作ったんですけども、でも、実際、中身は何なの？ といったときに、総論賛成とか各論反対ということで、重点施策や重点プロジェクトというのはなかなかまとまらないことが多いと思うんですけども、これはあえて小金井市の現況ですとか、課題ですとか、社会状況ですとか、そういったことを踏まえた上で、重点政策、重点プロジェクトという形でまとめていることです。その中身というのが、市報で広報したものが見やすく整理できているなど思ったんですけども、このように2ページになっています。1つは、みどりと環境衛生です。ごみの話とみどりの話。2つ目は、にぎわいを創出するまちづくり。駅前開発も含めてですけども3つ目は、子ども・高齢者・共生社会。いわゆる福祉ですとか、弱者という言い方がいいかわかりませんが、市としてやるべき施策があって、それに加えて参加と協働のきずなの話というのが4点目。5点目として、行政サービス、

行財政改革ということで、最後の4、5というのは「計画の推進」に当たるものです。

こういった5つの重点政策を上げた上で、審議会として提起したところを市のほうから重点プロジェクトという形で回答いただきまして、基本計画の中では、子ども・高齢者・共生社会のところをプロジェクトとしては一つ一つに分け、3つのプロジェクトとした上で、行政サービスに関しては、手段であって目的ではないのでプロジェクトとしては設定せずとしたところ、参加と協働を含めて6つの重点プロジェクトに作ったというようなことになっています。これが、将来像にそのまま、みどり、子ども、きずなという形でつながっています。そして、この重点プロジェクトをしっかりとやっていくことによって、市民にとっては、まさにこういったプロジェクトを通じて、市民にとって何が変わるのか、あるいは本当に実行できる計画なのかというところが見えてくるのかなと思っています。

つまり、数百ページもある計画書ですから、これではなかなか市民にはわからないと思うんですけれども、ここにあるパブリックコメントをかけた時の概要版では重点プロジェクトを中心に4ページぐらいの内容にして、これも斬新に事務局のほうに取組んでいただいて、こういう形が出てきたのですが、重点プロジェクトの成果として、具体的に市内の駅の1日の平均乗客数ですとか、あるいは桜まつりの来場者数ですとか、具体的に成果指標という形で記載がありますので、こういうところを重点にしてやっていくんだというところを、今後も市民にわかりやすく示していただけたらと思っている次第です。

この後、具体的に議会があつて、その後、市民に対して概要版を作ったりとか、あるいは実際に実行したりすることになってくると思うんですけれども、そういったことを通じて、本当に市と市民等が一体となって推進していただくような体制ができればということをお願いして、ちょっと長くなりましたけれども、私からのコメントとさせていただきます。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

五十嵐委員、お願いいたします。

◎五十嵐委員 では、座ったままで、失礼します。

私が長期計画の中で、これからの10年ということを考えたときに、ポイントとして一番入れてもらいたかったのは協働ということなんです。それが、私だけではなくて、ほかの委員の方からも声が出て、こういう形で盛り込まれたことに関しては、このことを10年間できちっと実施していただきたいという思いを込めて、このことに関しては非常によかったなという思いと、行政のほうでもぜひ一生懸命取り組んでもらいたいということをお願いしておきたいと思います。

あとは、いろいろと細かいことは、これまでの議会の経験が、知識が多少なりともお役に立てたのであればよかったんだけどという思いをしているところでございます。

ただ、最後に、やはり小金井市は財政的にはこれからもなかなか厳しいなということを改めて思っておりまして、最後に淡路先生から地域間競争という言葉について意見が出ましたけれども、今回は載っていないんですが、市民アンケートをとっても、市民の多くの皆さんが、小

金井市は緑が多くて、大変住みやすいけれども、公共サービスというか、公共施設に対して不満が多いということは読み取れるわけなんですけど、どうしても近隣と比較してしまうというのがあってと思います。それがその地域間競争に勝つことかどうかというのはちょっとまた議論があるのかもしれませんが、小金井市が近隣の市の中と遜色ないように行政サービスを充実させていくことは、これからの大きな課題だなと思っていて、それはやはり財政の裏づけがなければできないことですので、今後ともぜひ財政基盤をきちんとしていくということは、大きな課題として、市民もそうですけれども、行政の方には心して取り組んでいただきたい、執行していただきたいなということを最後に強く思ったものですから、それを要望させていただいて、意見とさせていただきたいと思います。

それから、起草委員の皆さんには、私もたまにお邪魔させていただきましたけれども、大変ご苦労いただきまして、ありがとうございました。

◎長期総合計画等担当部長　ありがとうございました。

続きまして、吉良委員、お願いいたします。

◎吉良委員　1年間、本当にありがとうございました。

私にとっても大変勉強になることが多い内容でございました。特に会長並びに職務代理者さんの気の使い方、一人一人を大事にする、意見を大事にするという姿勢に非常に感動いたしましたし、それから、3次から4次が変わる、新たな内容を変化をさせていくという上において、事務局の方が市役所内での調整に大変に苦勞をされたのではないかと。その努力の姿は、将来小金井市は安心だなと思われるぐらいの職員の方の質ということを感じて、非常にうれしく思いました。本当にご苦勞さまでした。ありがとうございました。

私は小学校のPTA会長を3年間というような形で地域にかかわり、それ以外にもいろいろと個人的にはしているわけですけども、とにかく参加と協働という言葉が思い起こさせるのは、ケネディ大統領が、国に何かを求めるのではなく、自分自身が国に何ができるのかを考えていく時代だ、それが民主主義だというような話をされたことがかあると思いますが、やはり市民全体が一人一人が主体者というところに立って、責任を分かち持って、そしてよりよい市民社会を作り上げていくという姿勢、そして淡路委員の言われた、また渡辺委員の言われたきずなど、そして幸せという、そういう関係性の中に幸せを築いていくという、そういうことが非常に大事だなということも感じた次第です。とにかく将来像の中に、「みどりが萌える、子どもが育つ、きずなを結ぶ」というこの3つがあれば、10年間は明るい小金井市になるのではないかと期待をしております。

ありがとうございました。

◎長期総合計画等担当部長　ありがとうございました。

続きまして、玉山委員、お願いします。

◎玉山委員　人前で話すのは苦手なので、短く書いてきました。

やっとこの日を迎えたということに、深い感動を覚えています。長いようで短い、あつと言

う間の1年でした。その間にさまざまな感想があります。審議会という、市民の参加する場において、その構造的特徴というか、いろいろな思いを感じながらも参加させていただきましたが、私ももっともっと勉強しなければならないと多く反省しました。最初に、あれこれ要望を伝えるだけではなくて、何かともにできることはないか、そう感じて公募に応募したと、私は申しあげましたけれども、結果として、ともに作り上げることの難しさをあっちこっちで感じました。私自身も全然知識も勉強も足りなかったと、今、本当に反省が多いです。

特に私は福祉の部分に注目して担当もしていましたので、感じたんですけれども、特に福祉の部分ではできるだけアンテナを多方面に伸ばして、きめ細やかな対応が求められる部分です。市民が参加するということでアンテナも増え、対応も広がりを増す可能性がある反面、それが行政の負担になるというのは、このご時世、避けなければならないという思いもあり、だれか魔法のように解決してほしいと思うぐらい難しいことではありますが、それでも、できることを一步一步進むしかないというのは、この1年間で心から感じました。ただ、今回の基本構想・基本計画の中で、市の方向がきっちり市民を向いたと、私は感じまして、それはとても評価されることだと思います。

そして、最後になりますが、私のつたない意見やしょうもない意見に、広い心で忍耐とともに対応して下さった会長をはじめ委員の皆様、企画政策課の皆様、お詫びとともに深く感謝、お礼の言葉を申し上げます。ありがとうございました。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございました。

続きまして、永田委員、お願いいたします。

◎永田委員 永田でございます。昨年の6月からこの審議会に参加させていただいたということで、常々言っていることなんですけれども、あまりにも私自身、ただ住んでいるだけという、そういうところがございました。そういう意味で、市でどういうことを議論されているのか、そのあたりを垣間見たいというのが、この審議会に参加させていただいた大きな動機でございます。

その感想といたしましては、今回の報告書、家に帰りますと、膨大に積み上げるわけなんですけれども、そういう意味で、家内からも、この資料、何とかしてよという話が、実はあるんです。そういう意味では、一つずつ積み重ねて議論させていただいたというのが、非常に大きな、私としては勉強になったということがございます。

起草委員会にも参加させていただいて、延べ31回ということで、よく考えますと、非常に膨大な時間を費やしたなというのがあるわけなんですけれども、その中で、どちらかという事業の中身というか、かなり多いというか、膨大な事業があるというのは認識を新たにされた次第でございます。事務局の方々、武藤会長、三橋委員、非常に細かくご指導いただいて、なおかつ一語一句というか、行政文書というのはいくつか積み上げていくんだということを勉強させていただきまして、この面では、私としても今後こういう文章を書く上で参考になったのかなと思っております。

最後なんですけれども、どちらかというところ、私、交通であるとかインフラであるとか、防災であるとか、そういう側面を主体的に見ていたようなところがございまして。そういう意味では、防災に関しては、地域というものが重要であるということがありますので、小金井市というのは財政的には厳しいと言われてつつも、多分豊かなんだろうなと私は思っております、どちらかというところ、もうちょっと厳しいような、地域はどうしているかというのが一つの今後のテーマなのかなと自分では考えているんですけれども。その中で、そういう交通に関しても、特にインフラなんですけれども、これからは老朽化してくるということがございまして。そういう意味で、そういう財源的なものをどうしていくかというところ、我々の立場でいきますと、民間との協働みたいな話が出てくるわけなんですけれども、そういうものを含めて、もう一つ、一歩踏み込んだ形で勉強させていただければと思っております。

この1年間、活発に議論いただきまして、私個人としては本当に勉強になった次第でありまして、それを言葉にかえさせていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございました。

続きまして、渡辺委員、お願いいたします。

◎渡辺委員 起草委員だったんですけれども、ちょうど土曜日授業で、大分さぼってしまったので、申し訳ないなと思っております。

前回も私、長期計画の委員なので、今回10年ぶりですということ、10年間という時間というのは非常に時代を変えるということ、この委員会の審議の仕方も、10年前と比べると大幅に変わっちゃったな、それがまず第1番目の私の印象であります。それで、この間、市役所の職員の皆さん、さんざんたたかれながらも、耐えて耐えて、こんな資料を作って、先ほどお話もありましたけれども、これだったらもう任せられるかなということ、大丈夫かなというのが、僕の最大の印象でありました。

それから、内容的に、先ほど三橋委員も言われましたけれども、前文のところ、「私たちは」という主語から始まって、これはアメリカ合衆国の前文の「We the people of the United States」、「我々アメリカ合衆国の人民は」という主語から始まって、非常に格調高いと思いつつ、本当に大丈夫かなという心配もちょっとあったんですけれども。いずれにしろ世の中変わっていくし、多分10年後の小金井市もかなり変わっていなければいけないだろう。そういうことに対して、市民と行政、力を合わせて、激動になるかもしれないし、そうではないかもしれないですけれども、やはり乗り切っていくしかないなということを感じました。

あと、私の個人的な思いとしては、ほっとするまちをつくりたいと言ったらいいんですかね、小金井に来たら、何かほっとする。人間が温かいとか、まちにごみがないとか、そういうのは、きずなを結ぶとか、子どもが育つというキーワードで表現されたのかなという気がするんですけれども、とにかく小金井に来たら、何かほっとするねという、そんなことがこの計画で実施されるとうれしいな。また、そういうつもりで何回か発言したつもりでした。

私も10年前のつもりで参加して、大分この委員会が違って、勉強させてもらいました。私も年とったなという感じであります。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

続きまして、今井委員、お願いいたします。

◎今井委員 すばらしい方々の集まりだったので、これから皆さんが各得意分野での活躍がすごく楽しみだなと思っております。私、得意な分野といいますが、「地域と経済」の中でもほんの一部しかありませんが、この後、新産業振興プランのほうで、今回これに出ているものをもうちょっと膨らませるといって、育てて実現していきたいなと思っております。皆様よりもしゃべるのも文章力も非常に低かったんですが、私は行動のほうで何とか皆さんに追いつこうと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。長いこと、お疲れ様でした。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

続きまして、鈴木委員、お願いします。

◎鈴木委員 1年間、本当にありがとうございました。武藤会長をはじめ、三橋委員、あるいは委員の皆さんにお世話になりっぱなしで、1年終わったというような感じでございます。

特に高齢者代表という言い方は悪いんですけども、小金井市の場合には、シルバーセンターのことに、これちょっと触れていただいております。自分の畑のことをちょっとお話しだけしたいんですけども、今、約1,200名会員がいます。非常に働く意欲のある、元気な人ということで、シルバーセンターの会員はそれでなければいけないんですけども、特に全国的に、今でも何とかトップ争いをしているという状態でございます。特に就業率、会員になった後の働く人、会員になっても働かない人も何人かいますから、それができるだけ働くような考え方で、我々は頑張っているんですけども。

この一部をここに載せていただいておりますけれども、これからも高齢者、おそらく小金井市の場合にはシルバーセンターの病気になった、その辺の調査を実はしたんですけども、医療費がほとんどかかっておりません。5年ぐらいのアンケートをとって見たんですけども、1年間に医療費が100万ぐらいかかったのは1人、あとはほとんど医療費が3万、5万という。これ、稲葉市長からもちょっとお伺いしたんですけども、今、小金井市の医療費、高齢者の医療費が、たしか1年間で80万ぐらいかかっていると思います。88万ですかね。全国的にもちょっと高いのかなと思いますけれども。ただ、高齢者全体を見ると、非常に元気な人が多いのではないかと思います。これからも、そういう高齢者のびんびんころりというか、元気でいくというか、この辺を私自身も何とか、もう年齢的にはちょうど時間となった年齢なんですけれども、これからもまだまだ頑張らなければいけないかなと。それが地域に貢献することかなと思っております。おそらく小金井市も、あと何年かで4人に1人あるいは3人に1人というふうな、失礼、4人、5人、高齢者がまだまだ増えるわけですから。あと3年か5年は増えてくると思うんですね。それから、人口も減ってくる、高齢者も減ってくるということな

んでしょう。

今回の基本計画で、非常に勉強させていただきました。何か全然わからない……、今井さんの発言にも非常に勉強になったし、渡辺先生にも大分教えていただきました。これからももうしばらく高齢者の代表で、地域のために頑張りたい、このように思います。本当におんぶにだっこ型で申し訳ありませんでした。反省しております。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

続きまして、竹内委員、お願いいたします。

◎竹内委員 いろいろとお世話になりました。

今回の第4次を見て、非常に丁寧に、しかもきめ細かに作ったので、私としてはかなり満足度の高い計画だと思っています。1次、2次、3次に比べますと、非常に素晴らしい計画ができたなど。ここに来るまで、今回はうるさい委員が多くて、関係の、特に担当の職員は相当苦勞されたのではないかと思います。それだけ苦勞したから、いい結果が出たのだらうと思うんですね。

問題は、少子高齢化の時代で、これが10年間計画どおりいくのか、絵にかいたもちになってしまうのか、これは市民の力と、これを推進する関係者の力になるかと思うんです。特に市民協働、公民連携というのは今後の中心的なテーマになると思いますので、この点では、小金井の市民の力というのは非常にありますから、その力をうまく結集、ネットワーク化できるような、そういう努力が一番大きな推進力になると思うんです。だから、それができるか、できないかにかかっているのだらうと思います。

1つだけ、ちょっと残念だったと思うのは、広域行政の推進というところで、前回に比べると一歩前進したんですけれども、10万人の自治体が一通りそろえて、これからの都市間競争が非常に激しくなると、どなたかおっしゃっていましたが、そういう時代にならざるを得ないと思うんです。小金井の10万人、11万人都市で一通りそろえていくには、大変な努力が。今、庁舎問題もそうですし、ごみ問題もそうですけれども。ですから、やはり広域連携、広域行政をもっともっと取り組まなければいけないのかなと常々思いながらも、そこに一歩しか踏み出せなかったのが心残りです。10年後の第5次ときは、もう私、いないかもしれないですけれども、ぜひそのところを取り組んでいただければと思います。

どうもありがとうございました。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

続きまして、鮎川委員、お願いします。

◎鮎川委員 1年間、どうもありがとうございました。個人的な思いを3つほど述べさせていただきます。

まず1つは、長期計画審議会の委員を仰せつかって、本当にたくさんの方の事を勉強させていただきました。協働という概念から、「環境と都市基盤」などの各分野など、知らないことにたくさん出会い、そして学んでは、また次に知らないことに会いということ、本当にたく

さんのことを1年間で勉強させていただきました。それは大変ありがたい機会をいただいたと思ひ、心からお礼申し上げます。

そして2つ目は、こちらの審議会の委員の皆様、公募市民の方々、学識の皆様、各団体の皆様のたくさんのご意見を伺う機会をいただき、また市民フォーラムや市民懇談会などでも、市民の方の声を生で伺うことができ、大変よい機会をいただきました。中には、委員の皆様からも市民の皆様からも厳しいご意見もいただきましたが、お顔を拝見しながら、生のお声を聞くことができたということは、大変すばらしい機会でありました。私が教育委員として、皆様のお声を常に心にとめておきながら、これからに生かしていきたいとも思っております。

そして3つ目ですが、先ほど皆様からお話がありましたが、事務局の皆様の本当に大変なお仕事、この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。本当にお忙しい御立場でありながら、この審議会のさまざまな長期計画のためにたくさんの準備をしてくださり、私たちみな意見に対応していただき、私の愚問にも丁寧にご説明、ご回答していただき、本当にありがとうございました。皆様、1年間ありがとうございました。

◎長期総合計画等担当部長 どうもありがとうございました。

続きまして、鴨下委員、お願いいたします。

◎鴨下委員 1年間、皆さん、本当にお世話になりました。風邪を引いてしまって、変な声なんです、すみません。

ちょうど1年前に農業委員会から電話が入りまして、突然長期計画審議会の委員をやってくれという電話だったんですが、最初にお話ししたとおりに、農業委員会の会長が今、大変多忙をきわめていまして、だれか代役を出してくれということで、さんざん迷ったんですが、最後に一言言いたいのが、大したことないからって。それで、のこのこやってきたわけですが、正直言って、大変驚きました。これが大したことなくて、一体何が大したことあるんだと言い返したくなったんですが。それでも1年間、皆さんのいろいろな意見を聞く中で、徐々に知的好奇心というか、そういうものをかきたてられたということが個人的な感想でした。これだけ優秀な方々ですから、小金井市のみならず、世の中のためにこれからぜひ尽力されていただけたらなと思っています。

私もサラリーマンをやめてもう10年ちょっとたつんですが、とにかく今は、自分ができることといたら、一生懸命毎日畑に出て、畑を耕し、野菜を作って、少しでも市民の皆様には新鮮な野菜を食べていただく。今、自分が何ができると問われたら、それしかできないわけですから、そのことに一生懸命。まず、自分が社会に対して、あるいは小金井市に対して何ができるかということ問い詰めたときに、もうそこに行き着くしかないなど、今、思っています。

大変個人的なことなんですが、私の父親も大変重病で、うちもいつ相続が起こって、畑がなくなるかわからない状態の中で仕事をしているんですが、昔読んだゲオルギウという作家の『25時』という作品の中に、たとえあす人類が滅びようとも、私は今日リンゴの木を植えるという大変美しい言葉があって、そのことを座右の銘にして、私は頑張っていきたいと思ひます。

最後になりましたが、委員の皆様をはじめ、会長さん、三橋委員、それから、大変ご尽力いただいた事務局の皆様には厚く御礼申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございました。

続きまして、大久保委員、お願いします。

◎大久保委員 1年間、大変お疲れさまでございました。

私がこの審議会に出席する立場といたしましては、市に勤務する職員の代表的な立場で参加をさせていただきました。庁内的には策定本部というのがございまして、そこでも調整がいろいろと大変だったところがございますが、改めて考えてみますと、今後10年間の小金井市政の進むべき方向性がきちっと決まったのかなと思っております。第3次長期総合計画、第3次基本構想とは作り込みが違っております、基本計画と中期財政計画を一緒にお示しした中でやっていくという形でございました。財政フレームはあくまでも中間的な部分での策定でございましたけれども、世界的な景気の動向がこれからどういうふう左右されるのかという点も考えますと、なかなか不安定な部分もございます。ただ、皆さんの英知を集めて作られた長期総合計画でございますので、行政側といたしましては、しっかりと着実に計画どおり進めてまいりたいと思っております。どうもお疲れさまでございました。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございました。

続きまして、本日欠席でございますけれども、淡路委員からメッセージをいただいておりますので、事務局が読ませていただきます。

◎事務局 お手元にあります資料の最後のページにも記載しておりますので、こちらもご覧いただきながらお聞きいただきたいと思います。

委員終了に当たっての所感。淡路富男。平成22年6月28日。

会長や委員、事務局の皆様、お疲れさまでした。皆様とともに計画作成に参画できたことに、深く感謝いたしております。小金井市民でない、行政に関して多少の専門知識と経験がある学識委員として、皆様とは少し異なる立場からの参画でした。それが役割でもあり、この所感もその観点から申し上げます。

審議活動と長期計画について。参画した委員の皆様や事務局の活動は、他の自治体の場合と比較しても遜色のないものでした。また、計画内容についても、前計画と比較した場合の成果は多と言えます。ただ、平成23年度の計画といった時代性を考えた場合、委託した組織からの最新の知見提供が少ない、委員からの提案は反映されたものの、やや内向きの計画になったことは否めません。ただ、過不足は計画の常でもあり、今後は「答申に当たって」の内容を生かした推進が求められます。

残された重要課題。しかし、より大きな課題は小金井市の組織能力です。今回の長期計画に関する成果の上限は、策定した計画内容で決まりますが、下限はそれを担当する組織能力に影響されます。今回の1年強の審議経験からすると、事務局の根気に敬意を表するものの、前例

的な討議要綱、議論不足の政策体系、盛り上がりに欠けた組織の参画など、小金井市役所の組織能力の発揮不足が大変に気がかりでした。必要以上に負荷のかかった起草委員の奮闘とは対照的なものでした。審議途中で提出される計画案の内容からしても、これからの常識になる市民志向（マーケティング力）、経営能力（組織力の活用）、コスト意識（改革力）とも、他行政と比較した場合、高いとは言えません。このままでは少子長寿化と地域主権時代の今後の市政運営に看過できない影響を与えることになります。

今後について。長期計画の成果実現には、計画を実行する行政経営の仕組み構築が不可欠になります。この点から、長期計画の「計画の推進」に関する記載事項は極めて重要です。長期計画が策定された今、記載事項をトップの率先したリーダーシップで対処し、市民の期待にこたえられる市役所（組織能力）を創造することが、小金井市将来像達成の大きな要因になります。即座の着手が求められます。

最後に、皆様が生活をするみどりが萌える小金井市の創生を願ってやみません。また、機会があれば皆様とお会いしたいものです。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

それでは、最後に武藤会長からお話をいただきます。

◎武藤会長 私も、長期計画の3次のと比べて、今回大きな違いは委員の皆さんの違いだと思っています。思い出さないようにしたいんですが、最初のころにちょっとご迷惑をかけたようなこともありまして、それもすっかり過去のことになりました。十分な議論ができてですね。第3次と違う、これだけのものができたというのは、本当に今日はこれを持って、サッカーを見なくてはいけない。皆さんの協力のおかげで、皆さんのご尽力のおかげでこういうものができ上がり、無事に市長に提出できたのは、私のこの10年間の成果ではないかと思っております。どうもありがとうございます。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございます。

市長。

◎稲葉市長 大変ご労苦をいただいて、大変な成果を上げていただいたなと思っております。これを、絵にかいたもちにしないようにするために、行政、力を合わせて頑張っていきたいと思っております。事務局が至らないところで、ご迷惑をおかけしたかと思っております。若い職員にとっては非常に勉強にもなったろうと思っております。これを生かしていきたいなと思っております。1年間、皆さんが激論を交わす中で、いろいろな友情もはぐくまれてきたのかな、武藤一家みたいになってきたのかなと思ったりしないでもないんですけども。

皆さんも出されて終わったということよりも、小金井市がこれをどういうふうにしていくか、基本構想があり、長期計画があり、そして実施計画があり、そしてその年その年の予算を作っていくという中で、皆さんの出された答申、そして提言がどれだけ具体化していくのかというのをご覧になっていただき、叱咤激励していただきたいなと思っております。大変お骨折りをいただいたというのは、私も休日に役所に来ることが多いんですけども、そのたびごとにとど

なたかとお会いしたりしておりまして、休みにもかかわらず、大変ご足労をおかけしているな
と思っております。あと、議会でどういう審議になるかわかりませんが、皆さんのご意
見を最大限尊重していきたいと思えます。ありがとうございました。

◎長期総合計画等担当部長 ありがとうございました。

以上で、小金井市長期計画審議会によります答申及び提言、市長との懇談を終了いたします。
皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。（拍手）

（午後 7 時 3 0 分 閉会）